しかはま自然観察会

のらえもん

2026年度

No. 9

2026.10.24

『　人も　自然も　みんな友だち　』

第９回活動　筑波山散策と芋ほり

雨の一日になりました・
待ち望んでいたのは、スカッとする秋晴れだったのに・・・。
でも、雨を味方にして、
みんなで存分に楽しんできました。
筑波山の頂上である女体山８７７メートルからの展望は、
墨絵のようなすばらしい光景でした。
昼食には、あったか～いとんじるやけんちんじるを
いただきました。
筑波山神社の境内を、いろいろ調べながら見て回りました。
芋ほりのときには、なんと、雨が止んでくれました。
おかげで、黒い土を手で掘って、ピンクいろの大きな
サツマイモを沢山収穫できました。
サツマイモを掘っているときは、大人も子どもも
みんな夢中になりました！
一人約４キロの紅はるかを、
「重い！重い！」といいながら、元気いっぱいに戻ってきました。

１，日　時：２０２６年１０月２４日（土）全日

２，天　気：一日中小雨　　気温１６～１９℃

３，場　所：筑波山散策とあすなろの里
・ロープウエーとケーブルカー利用
女体山から御幸原まで散策、そして筑波山神社見学
・芋ほり体験
種類：紅はるか　　一人３株
一人平均４キログラム収穫

４，参加者：総数２１　　バス１７名　　内訳　大人１４
車　　４名　　小学　３
幼児　４

５，活動の様子

「雨の、のらえもん」のジンクスどおり、秋晴れの中の活動とは行きませんでした。が、「雨にも負けない、のらえもん」を発揮し、みんなで楽しんできました。

○筑波山散策　１０：００～１３：００

白いガスがかかり、何も見えない中をロープウエーで山頂駅へ。15 分も歩くと、筑波山の山頂である８７７メートルの女体山へ到着。

記念の写真をとって展望を見下ろすと、秋の色づきはなく、ただただ墨絵のような光景が広がっていました。



雨でぬれた石ころの多い山道を、一人一人が気を付けながら歩きました。

ヌスビトハギとピンクのアザミぐらいしか草花を見ることができませんでした。

すれ違う人たちの雨具はみんなカラフルで、お花のようでした。

「そろそろ休憩したいな」と思ったとき、目の前が広がり平らな場所に出ました。

ここが「御幸が原」でした。

気温は１９℃です。雨でぬれています。

あったかい所で休みたいなと考えていました。すると、客引きのおばさんから声がかかってきました。

「休んでいきませんか。あったかい汁ものがあるよ。」

「お弁当を食べたいのですが、いいですか？」

「何か、一つとってもらえれば、いいですよ」

冷えた体にはあったかい汁ものが一番と、気持ちはかたまりました。

「トン汁と、けんちん汁、お願いします。」

体が急にあったかくなり、気持ちまでが明るくなるようでした。

みんなでゆっくりさせてもらいました。

店を出て、振り返ると、「めおと茶屋」と大きな看板がありました。

霧で、展望のきかない御幸が原でしたが、めおと茶屋であったかくなった体からは「御幸」のオーラが出てきたようでした。

今日開通したというケーブルカーに乗って下山しました。



○筑波山神社見学　１２：３０～１３：００

徳川幕府の支援を受けていたという、りっぱで大きい筑波神社です。
境内には、いわれのあるいろいろなものが沢山ありました。
ハートのような形をした大きな鈴・日光より古いという三猿・マルバハ楠・めおと杉。さらに大きな杉の木があり、その幹をみんなで手をつないでぐるりと囲んでみました。なんと、１２人で一周するほどの太さでした。
市営第三駐車場で待っているバスへ、道を探しながら進みました。

○芋ほり体験　１４：３０～１５：３０

あすなろの里へ移動です。
雨の中の芋ほりは、泥だらけになるのではないかと心配しましたが、長靴に履き替えて準備万全にして臨みました。
今年は雨が適度に降ってくれたので、生育は順調のようです。
３株づつに白線が引かれています。自分の持ち分を確認して、いっせいに掘り始めました。
黒い土の中からピンク色のサツマイモが顔を出してきました。折らないようにていねいに掘っていくと、太く大きなサツマイモがとれました。
「とれたー！」
「大きいネー！」
と、はしゃぐ声が響いてきます。
ビニール袋いっぱいに入ったサツマイモを量ると、平均４キログラムありました。
「重い、重い」といいながら、畑を後にしました。
芋ほり中、雨は止んでくれていました。

紅はるか

掘ったサツマイモの種類です。
２０１０年に品種登録された
新しいサツマイモです。
糖度が高く、ねっとり・甘い。
収穫後２～３週間でより甘くなります。

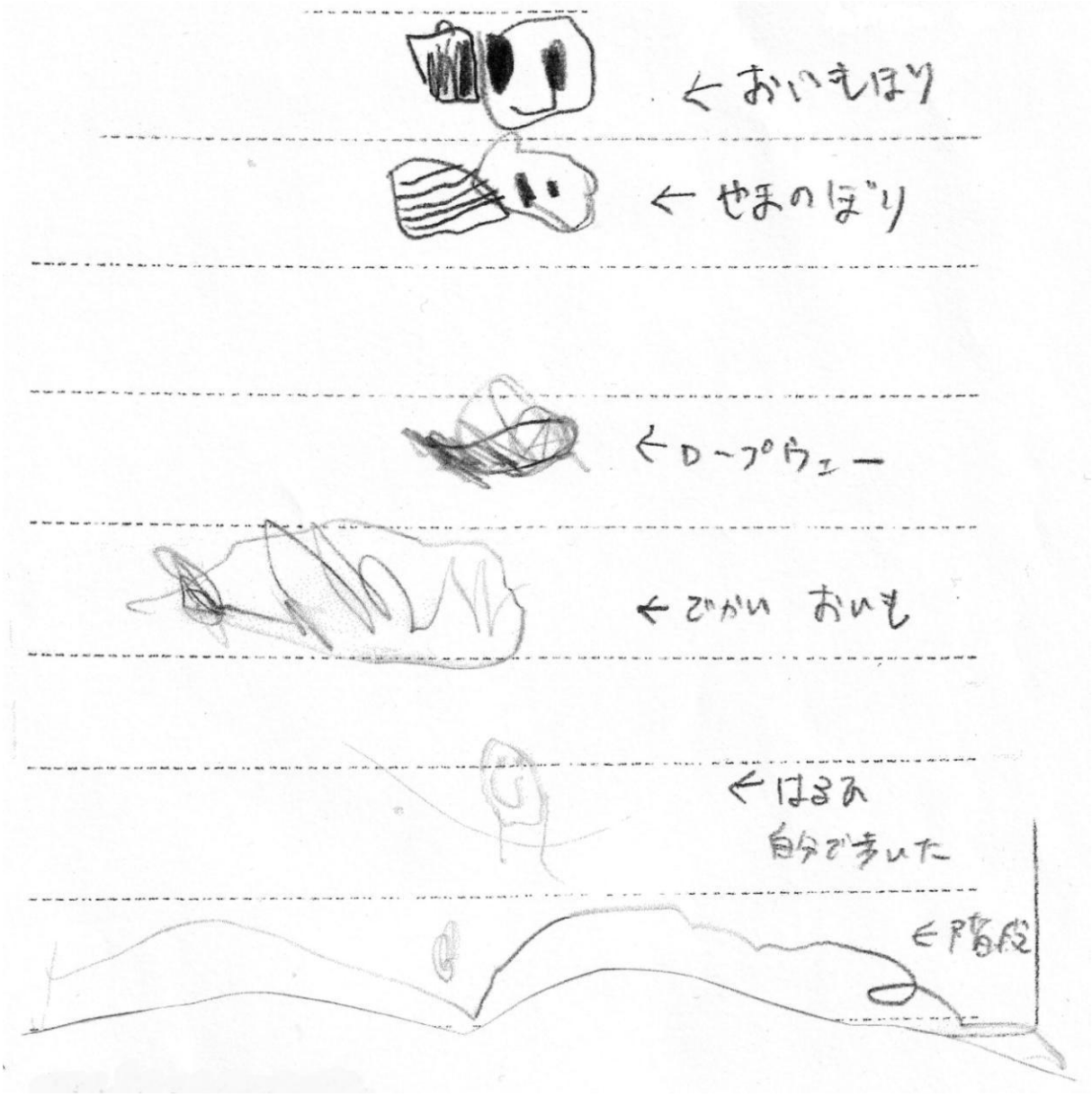


サツマイモの歴史
中米原産で、中国から琉球に伝来して
４２０年、琉球から鹿児島に伝来して
３２０年、やがて全国に普及しました。
それは、土地がやせていてもよく育ち
飢饉にそなえるためでした。

保存は、暖かい地方の作物ですので、新聞紙にくるんでトロ箱などに入れ、暖かい場所においておきます。だんだんねっとり・甘くなってきます。

６，ふり返りの感想

〇はじめての参加でしたが、3 才はるひも 5 才ゆずるも、とても楽しくすごせました。
ゆずるは、ケーブルカーやロープウエーの仕組みに興味津々。
はるひは、何とか自分で歩いたことやお芋を掘ったことが楽しかったようです。
皆様にたくさんご配慮頂き、ありがとうございました。
大漁だ！　子より芋ほり　親必死　　3 才
母



〇ぜんぶたのしかったです。
また、きたいです。
ロープウエーは、ちょったこわかった。
ケーブルカーは、たのしかった。
山登りも、子供でも参加しやすいハートで、良かったです。　　5 才
父

○つくばさんケーブルカーにのって、
じんじゃで大きな木があってびっくりしました。

鹿浜五色桜小３年

○家族４人で山登りに参加できました。
子どもたちの方が山道を歩くのがはやく、とても楽しかったです。
次回は、晴天のときにロープウエーにのってみたいと思いました。
山登り　だっこをせずに　らくらくだ

年長
父

○たのしかったことは、おいもほりです。
りゆうは、だれがゆうしょうしたのか、きになるからです。
（一人ずつの重さを量りました。最高は、４，８キロでした。）
おいもほり　たのしかったな　おいしそう

栗島小３年

○貴重な経験をさせて頂き、いつも本当にありがとうございます。
娘がいもほりに夢中になって熱中しており、このような体験をさせて頂き、本当にありがたいと思いました。
我が家では、親子だけでこのような体験ができないので、このような機会を頂き、感謝しかありません。
つくば山　雨でも心は　リフレッシュ

母

○本日、朝は体調が悪かったものの、その後もちなおして楽しむことができました。
芋堀りでは、約７キロを取りました。
正直、もっと掘りたかったです。
泥だらけ　芋掘る姿は　犬のよう

HAＬ東京３年

○雨の筑波山でしたが、自然にふれて気持ちがリフレッシュしました。
天候や自然に逆らうことなく、人間が合わせて生きていくことが大切なのだと感じました。
芋掘り、楽しかったです。
芋づるの　先をたどれば　顔をだす

母

○一年に一度の参加になっていますが、のらえもんにくると、子育てをがんばっていた頃を思い出します。
今日は、筑波山神社が歴史を感じれたり、芋ほりはとても楽しかったです。
おいもほり　いがいとたいへん　としかんじ
マルバクス（丸葉楠）　昔を思う　かおりかな

父・母

○女体山　眼下に広がる　水墨画
アザミ咲く　道をたどれば　女体山
すれちがう　善男善女　霧の中
秋雨の　御幸が原の　めおと茶屋
黒い土からピンクのサツマイモだ
芋ほりは　老若の差は　ありません
掘ったいも　持ち上げるのは　バネばかり
雨降って　いい雰囲気の　のらえもん　　古高　利男

＊試してみました
今回の活動に、私は、あえて運動靴で参加しました。
筑波山散策があり、いつもなら登山靴で参加するところです。
子どもたちは、運動靴で参加することが多いのです。それなら、「子どもたちと同じ運動靴で歩いてみたらどうだろう」と、考えました。
当日は雨で、筑波山の散策は岩の多い路でした。
３０分ほどの山歩きでしたが、雨の湿気が靴に入ってきました。そのうえ、岩に靴を載せても安定感が少ないように感じました。年齢のせいではなく、滑りそうでフラッとしました。
長く歩くときは、登山靴がいいことがよくわかりました。

芋ほりの歩み
場所：あすなろの里

回数	実施日	種類と 平均収量	1株の値段	参加者
１	２０２１年１０月３１日	紅あずま 約４キロ	１５０円	大　人１９ 子ども１９ 合　計３８
２	２０２２年１０月３０日	紅あかり 約４キロ	２００円	大　人２０ 子ども１５ 合　計３５
３	２０２４年１０月２０日	紅はるか 約１キロ	２００円	大　人１１ 子ども１３ 合　計２４
４	２０２６年１０月２４日	紅はるか 平均４キロ	２５０円	大　人１４ 子ども　７ 合　計２１